

効果① 開通直後の交通状況

● 圏央道の開通後の日交通量は、平均2,600～5,300台/日。

圏央道（久喜白岡JCT～幸手IC間）：5,300台/日

圏央道（幸手IC～五霞IC間）：4,300台/日

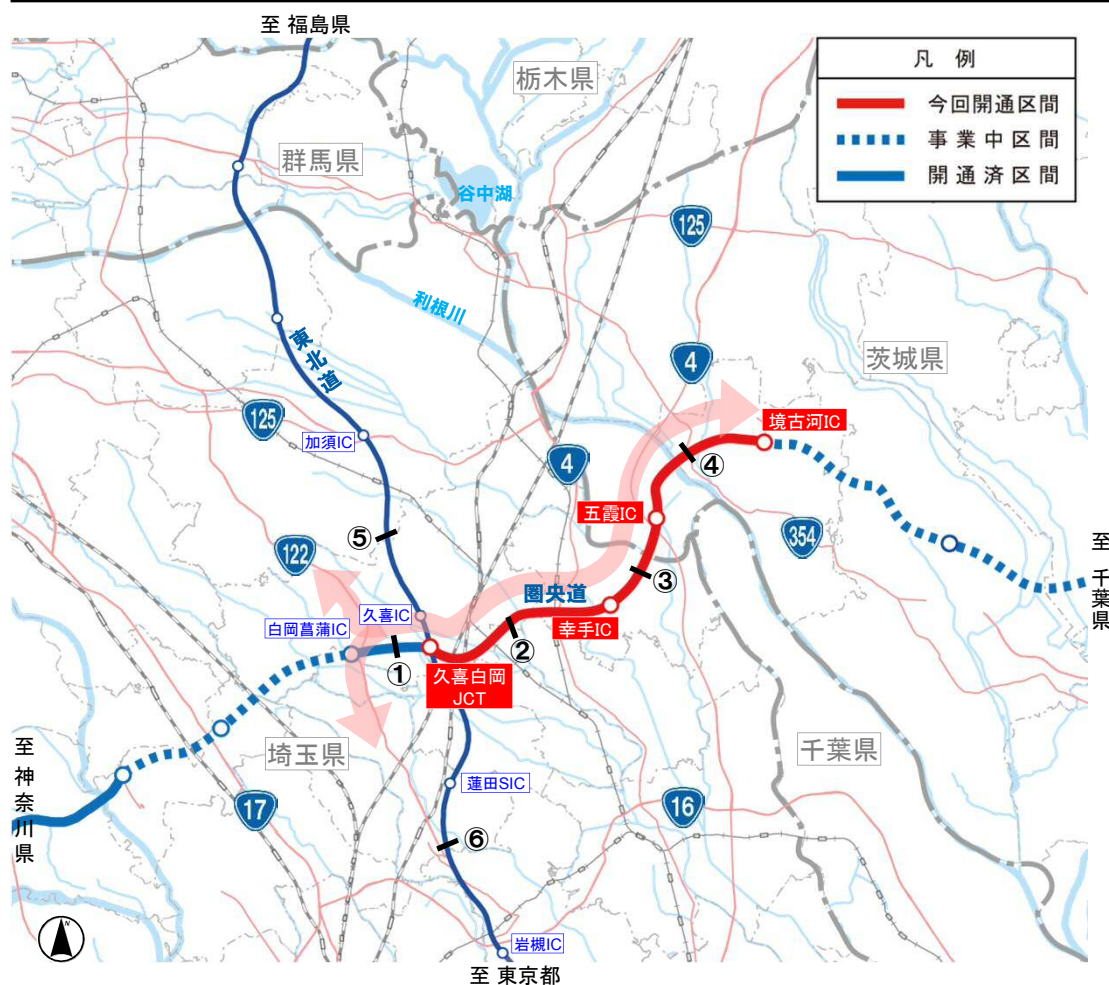
圏央道（五霞IC～境古河IC間）：2,600台/日

● これまで開通していた白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT間の交通量は、対前年同週比較で増加。東北道は対前年同週比較で大きな変化なし。

圏央道（白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT間）：6,800台/日→9,200台/日[35%増]

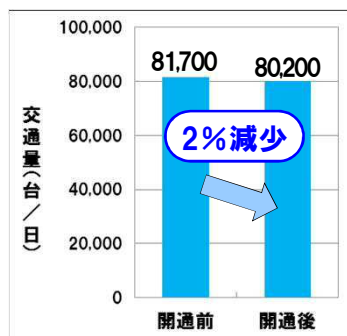
東北道（久喜IC～加須IC間）：81,700台/日→80,200台/日[2%減]

東北道（岩槻IC～蓮田SIC間）：92,800台/日→92,000台/日[変化なし]

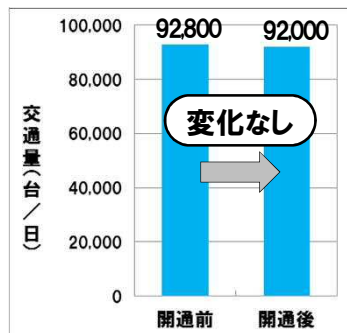


東北道(⑤, ⑥)

⑤久喜IC～加須IC(圏央道外側)

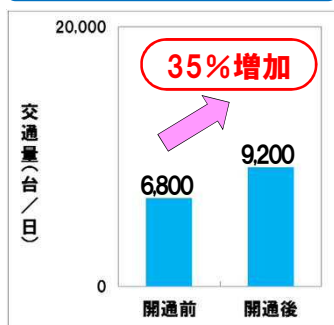


⑥岩槻IC～蓮田SIC(圏央道内側)



圏央道(①, ②, ③, ④)

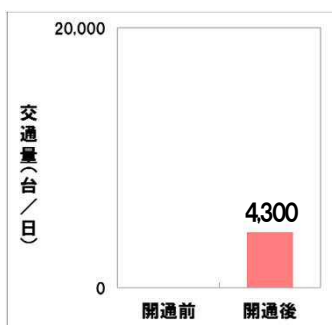
①白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT(東北道以西)



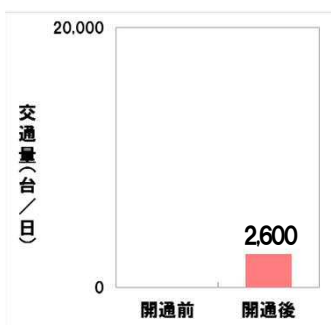
②久喜白岡JCT～幸手IC(東北道以东)



③幸手IC～五霞IC(東北道以东)



④五霞IC～境古河IC(東北道以东)



出典) NEXCOデータ

開通前：平成26年3月31日(月)～4月6日(日)の日交通量の平均値

開通後：平成27年3月30日(月)～4月5日(日)の日交通量の平均値

効果① 開通直後の交通状況

- 開通区間(五霞IC)にアクセスする国道4号春日部古河バイパス(新4号バイパス)が4車線で開通しており、交通量が増加。

新4号バイパス(新利根川橋断面) : 32,900台/日→36,900台/日[12%増]

新4号バイパス(五霞IC南断面) : 20,600台/日→25,800台/日[25%増]

- 開通区間に隣接・並行する県道結城野田線(境大橋)では交通量が減少しており、開通区間等への転換が図られている。

県道結城野田線(境大橋断面) : 23,400台/日→22,100台/日[6%減]

- その他の隣接・並行道路はわずかに減少。

国道125号(高柳東断面) : 18,500台/日→18,100台/日[2%減]

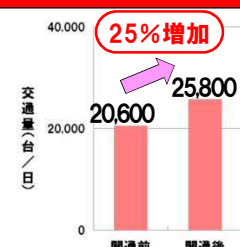
県道さいたま栗橋線(久喜IC断面) : 37,400台/日→36,000台/日[4%減]

国道16号(庄和IC東断面) : 44,400台/日→43,600台/日[2%減]

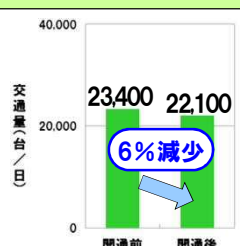
国道4号春日部古河バイパス(塚崎交差点付近)の交通状況の変化



新4号バイパス(五霞IC南)※1



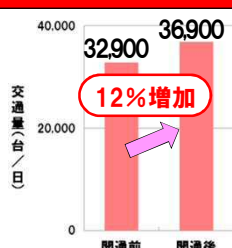
県道結城野田線(境大橋)※1



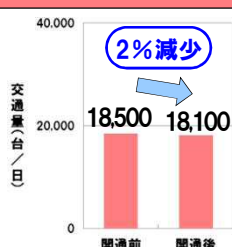
県道結城野田線(境大橋)の交通状況



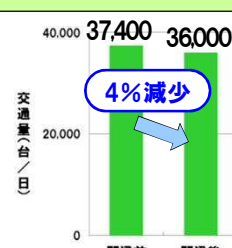
新4号バイパス(新利根川橋)※1



国道125号(高柳東)※2



県道さいたま栗橋線(久喜IC)※2



国道16号(庄和IC東)※2



※1 出典 国土交通省データ(交通量調査)

開通前:平成26年11月19日(水)7時~翌7時の日交通量
開通後:平成27年 4月 6日(月)7時~翌7時の日交通量

※2 出典 埼玉県警トラカンデータ

開通前:平成27年3月22日(日)~ 3月28日(土)の日交通量の平均値
開通後:平成27年3月30日(月)~ 4月 5日(日)の日交通量の平均値